

平成29年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	効果の上がる学力対策事業費		
予算額	126,234千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	1 目的 児童生徒に確かな学力が身につくよう、基礎基本の徹底や個別課題に対応するための取組を充実し、学力向上に向けた実践的・効果的な支援を実施する。		
	2 内 容 (単位：千円)		
	事 項	内 容	事業費
	京都式「学力向上学習システム」の構築 新規	個々の課題に応じた指導を行うため、つまずき部分と遡り復習が連動した自動学習計画システムの構築・実践	1,000
	学びと育ちを支える保幼小等連携推進事業 新規	保幼小等の円滑な接続を図るため、小学校での体験入学事業を推進するとともに、学力の基盤となる言葉の修得等に効果的な取組や家庭状況の把握を実施	2,000
	小学生個別補充学習（ジュニア・わくわくスタ） 拡充	学習内容が高度化する小学4・5年生段階のつまずきを解消するための個別補充学習を実施校を拡充して実施（教科：国語、算数等）	25,000
	中2学力アップ集中講座 拡充	中学2年生段階における基礎学力の定着と発展学習のための集中学習を実施校を拡充して実施（教科：国語、数学等）	20,000
	中1振り返り集中学習「ふりスタ」	中学1年生の早期に基礎基本を徹底し、学習のつまずきの解消を図るため、補充学習を実施（教科：国語、算数等）	30,000
	小・中学校学力診断テストの実施	小学校	23,400
		中学校	
	中学生読解力向上対策	「読む力」「書く力」を実生活で活用できる力を身に付けた生徒を育成するため、中学生を対象とした小論文グランプリ等を実施	1,116
	大学の先生に学ぼう体験事業	大学と連携を図り、未来に向かって夢と希望を持って学ぼうとする児童生徒を育成するため、出前や受け入れによる体験授業等を実施	5,500
	理科教育推進事業	理科の観察実験の機会確保と質の向上に向けた理科支援員の配置や大学教授等による指導助言を実施	8,000
学力向上システム開発校等	学校独自の研究計画による創意ある教育活動を行う研究校の指定等を実施し、その成果の波及により府全体の学力向上を推進	10,218	
計		126,234	
担当課名	学校教育課 指導第1担当 学校教育課 指導第2担当	電話番号	075-414-5833 075-414-5840